

日米会会長挨拶

日米会員の皆様、師走を迎え何かとお忙しくされている今日この頃だとお察しております。北カリフォルニアの山火事、大惨事でした。会員の皆様そしてお知り合いの皆様には災害のなかったことを心よりお祈りしています。災害に合われた方々には一日も早く復帰されることをお祈りしています。皆様のご協力によりまして二年間の会長職も無事終ることが出来ました。12月19日は総会です。来年度の会長並びに役員を決めるための理事をきめる大切な総会です、出来るだけ多くの方に参加していただいて2019年度2020年度の北加日米会を支えていただく皆様が皆様の手で選んでいただきたいと思いますので、皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

皆様にはお体を大切に良きクリスマス・新年をお迎えください。

北加日米会会長 西沢ジョン

第45回 日本語弁論大会

北加日米会、北加日本語教師会、在サンフランシスコ日本国総領事館共催による第45回日本語弁論大会が、2018年11月4日(日)、サンフランシスコ・ジャパンタウンのJapanese Cultural and Community Center of Northern California (JCCCNC) (1840 Sutter Street, San Francisco, CA 94115) で開催されました。JCCCNCで開催する弁論大会は第41回以来4年ぶりとなりますが、春のお話大会はずっとJCCCNCで開催しているので、すべてスムーズに運びました。

昨年までと同様、今年度も午前は「中学・高校生」の部、午後は「大学生・成人」の部の弁論大会という構成でした。今年度の参加者は、「中学・高校生」の部は10校から17名、「大学生・成人」の部は8名の合計25名で昨年より8名減少しました。昨年の「中高校生」の部の参加者が19名でしたので、若干の減少でしたが、昨年の「大学生・成人」の部の参加者14名から大きく減少しました。それにもかかわらず、日本語学習に対する意欲や日米の文化的相違、政治、さらには

個人的内省など、多岐にわたるトピックについて、日頃の日本語学習の成果を白熱したスピーチで披露してくれ、たいへん盛況でした。

「中学・高校生」の部(午前)では、西沢征義会長欠席のため、第一副会長の私、南が開会のご挨拶をしました。「中学・高校生」の部の審査委員長は在サンフランシスコ日本国総領事館の永吉昭一首席領事に、そして審査員は早稲田大学サンフランシスコ・オフィスの會沢洋一所長、裏千家サンフランシスコ出張所のクリスティ・バートレット所長、北加日系文化コミュニティセンターの稲生朱(いのうあや)さん、サンフランシスコ大学のスティーブン・ロディ現代古典言語学部教授にお務めいただきました。[追記:永吉首席領事は11月中旬にサンフランシスコを離任されました。永吉首席領事のますますのご活躍、国際貢献を祈念しています。]

「大学生・成人」の部(午後)の開会のご挨拶は、在サンフランシスコ日本国総領事館、宇山総領事にお願いました。午後の部の審査委員長は、宇山総領事、審査員は北加日本商工会議所の大垣忠央会頭、サンフランシスコ日本語補習校の西田菊佳教頭、北加ジャパン・ソサエティのローレンス・グリーンウッド会長、JETプログラム・アラムナイで日本語教師の広井亜里沙さんにお務めいただきました。ちなみに、今年度は総領事ご夫妻でご出席でした。



中学・高校生の部「家庭で日本語を話さない」生徒の部
The Middle and High School Student Division
Category 1 for Japanese not spoken at home

上記の通り、「中学・高校生」の部の17名ですが、①「家庭で日本語を日常話さない(日本語を理解する人が家庭にいない)」参加者10名、②「家庭で日本語を日常話す(日本語を理解する人がいる、もしくは日本語を話す人が家庭にいる)」参加者7名の2グループに分け、それぞれのグループごとに審査を行いました。

1「家庭で日本語を日常話さない」生徒の部の優勝者はフィリップ・ジョンソンさん(Henry M. Gunn High School)で、スピーチ・タイトルは「アジアの架け橋(The Bridge over Asia)」でした。第2位はベン・チンさん(Henry M. Gunn High School)の「アニメのオタクの決心(The Determination of an Anime Otaku)」、そして第3位はニシヤラ・ビーラムさん(Monta Vista High School)の「言葉の力(The Power of Language)」でした。

2「家庭で日本語を日常話す」生徒の部の優勝者はスパーゴ 絵里佳さん(Sakura Gakuen)で、スピーチ・タイトルは「日本語の中に生きる猫たち Becoming the Cat's Meow)」でした。第2位はハナ・チョウさん(Monta Vista High School)の「試練を乗り越えて(Overcoming Challenges)」、そして第3位は金弘さん(Junípero Serra High School)の「カタカナ語の違和感(Iwakan of Katakana)」でした。



中学・高校生の部「家庭で日本語を話す」生徒の部
The Middle and High School Student Division
Category 2 for Japanese spoken at home

「大学生・成人」の部の優勝者はユウエン・ジェンさん(University of California, Davis)で、スピーチ・タイトルは「心の中にきらめくお守り(A Sparkling Charm in My Heart)」でした。第2位はエミリー・ワンさん(Stanford University)の「17歳のわびさび(Wa (bi) Sabi)」、そして第3位はムルナル・ジョシさん(Sakura Gakuen)の「私の後悔(My Regrets)」でした。

午前の「中学・高校生」の部、午後の「大学生・成人」の部、ともに優勝から3位までの入賞者には賞状並びに北加日米会からトロフィーを、さらに「中高校生」の部の各カテゴリー優勝者には、スポンサーであるカプコンUSA社から副賞として抱えきれないほどたくさん豪華な景品が贈呈されました。参加者全員にも参加証書と景品が授与されました。

また、「大学生・成人」の部では、優勝者に賞状並びに北加日米会からトロフィー、さらにユナイテッド航空よりサンフランシスコ・東京間の往復航空券が贈呈されました。第2位には北加日米会から\$200小切手、そして第3位にも北加日米会から\$100小切手が贈呈されました。さらに、参加者全員にも参加証書と景品が授与されました。

最後に、大垣会頭に講評をお願いしました。審査委員の方々からは日本語のレベルの高さのみならず、個人の意見をしっかりと述べている点が特に印象的であったとの講評と共に、今後も日本語や日本文化に興味を持ち続けて欲しいとの激励の言葉が送られました。会場にはご家族や友人、教師等多くの方々



大学・成人の部
The College Student and Adult Division

応援に駆けつけ、アットホームな雰囲気の中で弁論大会を実施することが出来ました。最初にご報告しましたように、参加者数を維持、できれば増加させるために、日本語教育に携わっていらっしゃる先生、継承言語としての日本語に興味をお持ちの皆さんにより積極的に働きかけ、さらに大勢の日本語学習者にふるって参加していただけるよう、ますます魅力的な日本語弁論大会にしていきたいと考えています。数多くの企業、団体、個人の方々に協賛していただき、副賞などをご提供いただきましたこと、皆様のご協力、ご厚情に感謝いたします。

(南 雅彦)

<協賛>

ユナイテッド航空、カプコン、ニュー・ピープル、国際交流基金ロサンゼルス日本文化センター、北加日本商工会議所、北カリフォルニア外国語教会、加州日本語教師会、北加日本語教師会、パソナ N.A. Inc.、米国紀伊国屋書店、岡本不動産、カリフォルニア・バンク・アンド・トラスト、勉強堂



中高生の部「家庭で日本語を日常話さない」生徒の部
1位 フィリップ・ジョングさん

Mr. Philip Chung

The Middle and High School Student Division
Category 1 for Japanese not spoken at home

中高生の部門(午前)

「家庭で日本語を話さない」生徒の部

- 第1位 フィリップ・ジョング「アジアの架け橋」
- 第2位 ベン・チン「アニメのオタクの決心」
- 第3位 ニシャラ・ビーラム「言葉の力」

ロハン・アロラ
ローガン・バミディパティ
エリカ・カイ
シャーロット・チン
ゲーブリエル・ムーサ
ベティー・ン
コーリ・タンバー

「家庭で日本語を話す」生徒の部

- 第1位 スパーゴ 絵里佳
「日本語の中に生きる猫たち」
- 第2位 ハナ・チョウ「試練を乗り越えて」
- 第3位 金 弘「カタカナ語の違和感」

セス・直矢・バーガー
サンフONG 海維
ニコラス・サルロ
朱 えみり

大学・成人の部(午後)

- 第1位 ユウエン・ジェン「心の中にきらめくお守り」
- 第2位 エミリー・ワン「17歳のわびさび」
- 第3位 ムルナル・ジョシ「私の後悔」

チェリッシュ・オー
アルビン・ハドレー
エリス・ライン・ミラー
ラファエル・ラモス
ステイシー・ブー

45th Annual Japanese Speech Contest

On Sunday, November 4, 2018, the Consulate General of Japan in San Francisco, the Northern California Japanese Teachers' Association (NCJTA), and the Japanese American Association of Northern California (JAANC: Hokka Nichi Bei Kai) held the 45th Annual Japanese Speech Contest at the Japanese Cultural and Community Center of Northern California (JCCCNC) located in the heart of San Francisco's historic Japantown. Organizing the fall speech contest at JCCCNC was for the first time in four years. However, because we have continued to use the JCCCNC site for organizing the spring speech contest for elementary school students, everything went smoothly.

The primary objective of this contest is to encourage the learning and use of the Japanese language in the San Francisco Bay Area community, particularly among non-native speakers of Japanese. Consisting of (1) the Middle and High School Student Division and (2) the College Student and Adult Division, the speech contest represents a fun and challenging way for students at all levels to demonstrate their language and communications skills.

A total of twenty-five contestants — 17 in the Middle and High School Student Division and 8 in the College Student and Adult Division — participated in the speech contest and demonstrated their advanced Japanese speaking skills in various topics — ranging from personal experiences and learning Japanese to the cultural differences between the United States and Japan — before an audience of family members, teachers, friends, and the general public.

The Middle and High School Student Division contest was further divided into two groups, Category 1 for Japanese not spoken at home (10 contestants), and Category 2 for Japanese spoken at home (7 contestants). The Category 1 winner was Mr. Philip Chung ("The Bridge over Asia": Henry M. Gunn High School), the first runner-up was Mr. Qingyue Chen ("The Determination of an Anime Otaku": Henry M. Gunn High School), and the second runner-up was Ms. Nishchala Beeram ("The Power of Language": Monta Vista High School). The Category 2 winner was Ms. Erika Kawano Spargo ("Becoming the Cat's Meow": Sakura Gakuen), the first runner-up was Ms. Hannah Cho ("Overcoming Challenges": Monta Vista High School), and the second runner-up was Mr. Hong Jin ("Iwakan no Katakana": Junipero Serra High School).



中高生の部「家庭で日本語を日常話す」生徒の部
1位 スパーゴ 絵里佳さん
Ms. Erika Kawano Spargo
The Middle and High School Student Division
Category 2 for Japanese spoken at home



大学・成人の部 1位 ユウエン・ジェンさん
Ms. Yuwen Jian
The winner of the College Student and Adult Division

The other participants of Middle School & High School Student Division, who received certificates of participation, were: Mr. Rohan Arora, Mr. Seth Naoya Berger, Mr. Logan Mondal Bhamidipaty, Ms. Erica Cai, Ms. Charlotte Chen, Mr. Gabriel Ari Moussa, Ms. Pui Ki (Betty) Ng, Mr. Kai Kaulana Sam Fong, Mr. Nicolas Issei Sarullo, Mr. Cory Thomas Turnbaugh, Ms. Emily Kimbara Zhu.

The winner of the College Student and Adult Division was Ms. Yuwen Jian (“A Sparkling Charm in My Heart”: University of California, Davis), the first runner-up was Ms. Emily Yu Wan (“Wa (bi) Sabi”: Stanford University), and the second runner-up was Ms. Mrunal Vinayak Joshi (“My Regrets”: Sakura Gakuen). The first place winner for the College and Adult Division of this year’s contest received a round trip economy class between San Francisco and Tokyo from United Airlines.

The other participants of the College Student & Adult Division, who received certificates of participation, were: Ms. Cherish Liganor Aw, Mr. Alvin Hadley, Mr. Ellis Ryan Miller, Mr. Raphael Molina Ramos, Ms. Stacey Hoang-Kim Vu.

We appreciate the monetary and in-kind support given to the contest by the following organizations, firms, and individuals:

United Airlines, Capcom USA Inc., New People Inc., The Japan Foundation—Los Angeles, The Japanese Chamber of Commerce of Northern California (JCCNC), Foreign Language Association of Northern California (FLANC), California Association of Japanese Language Teachers (CAJLT), Northern California Japanese Teachers’ Association (NCJTA), Pasona N.A. Inc., Kinokuniya Bookstores of America, T. Okamoto & Co, Benkyodo

(Masahiko Minami)

小原宗香名誉師範茶道指導50年祝賀茶会

去る9月23日、小原宗香裏千家名誉師範の茶道指導50年の祝賀茶会が門下生、宗香会主催で小原宗香名誉師範宅で催されました。招待客は宇山SF日本国総領事様はじめ岡本SF淡交会副会長、パートレットSF裏千家出張所所長、SF淡交会の先生方でした。薄茶席は御園棚で終日小原名誉師範が点茶をされ、お客様はその素晴らしい薄茶を堪能しました。また、紫雲庵での濃茶席では、小原宗瑠(小原師の長女)および宗香会の皆様によるお茶が、振舞われました。50年前、(昭和43年)小原師の茶名被露茶会の為、千嘉代子夫人(裏千家第14代淡斎宗匠夫人)から贈られた風炉、窯、水指、茶碗、棗蓋置、等の諸道具に触れたことのお客様一同は、その優雅な深みのある輝きや艶に、深い感銘をうけました。半世紀の長い年月、茶道の指導を続けられた小原名誉師範の初心生涯の心でのお茶を堪能した参加者一同は、一期一会の良き思い出を心に秘め、感謝の気持ちと共に、お茶を楽しむことが出来ました。

(島邊 美紀子)



小原宗香裏千家名誉師範

小原宗香茶道指導50年祝賀茶会 会記

茶道開軒50年祝賀茶会
小原宗香裏千家名誉師範
2018年9月23日(日)
於:小原宗香名誉師範宅

紫雲庵 (濃茶席)

床	鵬雲齋大宗匠御洗筆	松樹千年翠
花	ときのもの	
花入	青磁つる首	時代物
香合	唐物、堆朱	
釜	筒胴締	敬典造
水指	信楽	章山造
茶入	備前	陶峯造
茶杓	銘 瑞雲	大亀和尚作
茶碗	飴 鵬雲齋大宗匠箱	
	次 瓢三島	九代大樋長左工門造 吉向十三軒造
蓋置	竹	宗重花押
茶	慶知の昔 鵬雲齋大宗匠好み	小山園詰
菓子	玉兔	力餅製

彩雲の間 (薄茶席)

床	西本願寺看学源哲勝師作詞揮毫	
袖に散る花のひとひら手に受けて	あわれ永劫の宿縁を思う	
花	ときのもの	
花入	宗全籠	
釜	車軸	敬典造
水指	老松の絵	白井半七造
茶碗	桔梗の絵 鵬雲齋大宗匠箱	真葛造
	替 歌銘 武蔵野	西本願寺造
武蔵野は月に入るべき嶺もなし	尾花かすへにか	
かるしらくも	藤原道方詠	
薄器	松喰鶴蒔絵 平棗	一瓢齋造
茶杓	銘 松風 共筒	前大徳寺管長雪叟
茶	琵琶の白	上林詰
菓子	月世界	富山月世界本舗製

秋の茶会

北加日米会ティーソサエティーは10月14日(日)、当館のお茶室“観桑庵”にて秋の茶会を催しました。今年は表千家流の担当で、1時、2時、3時、と薄茶席3席を設け、掛物、茶器等秋にふさわしいお道具を使用しました。多数の参加者の皆様は色々なお道具に興味を示され、力餅製のお菓子と薄茶をいただき、楽しい一時を過ごされ好評を得ました。私共関係者も同席するチャンスがあり、皆様と共に一服のお茶を楽しみました。

担当者: 関野、田中、坂倉、前田、宇井、大久保、上田
受付担当者: 西沢会長、柏原理事、島邊理事

日米会ティーソサエティ 秋の茶会 表千家流担当

2018年10月14日(日) 1時、2時、3時(3席)
於: 観桑庵
会記

観桑庵: 広間

掛物	石州拾溪流家元	石及庵曹榮筆	掬水月在手
花入	青銅 銘 竹情	池坊専永 箱	真塗矢筈板シキテ
花	秋明菊 雪やなぎ		
香合	輪島塗 蔦蒔絵	耕雲作	
	帛紗 而妙齋好み「若松につぼつぼ」シキテ		
釜・風炉			
風炉先	独楽つなぎ		
棚	宗旦好み	丸卓	
水指	染付 葡萄棚		平安北峰造
茶器	紅葉 八雲塗(松江市)		出雲大社記念品
茶碗	京焼 灰釉吹き寄せ絵		山川敦司造
	京焼 乾山写むさしの文		平安紫雲造
数茶碗	三作三島		
茶杓	宗林作 銘:秋の山	三ツ節 前大徳	福本積應 共筒箱
建水	唐金エフゴ		
蓋置	唐津	裕子作	
菓子器	志野焼食籠	菓子皿	
菓子	銘 柿	力餅製	
茶	銘 五十鈴	小山園詰	

直心庵: 小間

掛物	短冊	紹由筆	松風水月
掛花入	籠		
花	秋明菊	水引	

ティーソサエティー主催師走茶会のお知らせ

日時：12月16日(日)

時間：12時、1時、2時、3時 の4席です。

お茶は表千家流担当です。裏千家担当のお蕎麦席が二階であります。お茶席の前後どちらでも結構ですので、どうぞ皆様お友達をお誘いの上、是非お立ち寄りください。尚、ドナーション：\$15です。

文化の殿堂

非常に残念なニュースですが、都合によりまして今年度は見送られることになりました。皆様のご理解をお願いします。

新年会のお知らせ

2019年1月13日 日曜日夜6時より山昌レストランにて、新年会を行います。今年も文化の殿堂の授賞式を行わない為、会員の皆様だけの新年会となります。ビンゴやカラオケも予定しております、会員及びご家族 皆さまの御参加をお待ち致しております。参加費は1人50ドルです。尚、食事は、お肉と魚のチョイスがあります。お申込みの際申し込み用紙にご記入下さい。



新入会員

長岡宏一

北加日米会総会ご案内

北加日米会年次総会を下記の日程で開催します。会員の皆様、ぜひご出席下さるようお願い申し上げます。

日時：2018年12月19日(水) 午後6時30分

場所：北加日米会オフィス
1759 Sutter Street, San Francisco,
CA 94115

- 議題：(1) 昨年度総会議事録承認
(2) 会計報告承認
(3) 2018年度行事報告
(4) 2019年度行事計画
(5) 2019-2020年度理事選出

なお、出席できない方は、既に発送されている案内状についている委任状を、12月11日必着で北加日米会事務局に郵送してください。

JAANC Annual Meeting Notice

The JAANC Annual General Meeting will be held following:

Date: December 19, Wednesday from 6:30PM
Venue: Hokka Nichibeikai
1759 Sutter Street, San Francisco,
CA 94115

- Agenda: 1. Approval of Minutes of meeting 2017
2. Treasurer's Report of 2018
3. 2018 Annual Report
4. 2019 Planning Report
5. selection of 2019-2020 Board of directors

If you are unable to attend, please send your power of attorney to Hokka Nichibeikai office no later than Dec. 11.

北加日米会会報は、年4回(3月、6月、9月、12月)発行の予定です。お知らせやグループの活動報告等の記事も募集しております。どうぞ下記までお寄せ下さい。

北加日米会 Hokka Nichi Bei Kai
1759 Sutter Street, San Francisco, CA 94115
Tel: (415) 921-1782
Email: hokka.nichibeikai@yahoo.com
<http://www.nichibeikai.org>